

仕合わせ



第202号
H. 31. 1. 1
(毎月1日発行)



仏様の教え お釈迦様 (おしゃかさま 釈尊) 出世の本懐

住職 谷川寛俊

明けましておめでとう御座います
本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、お寺は釈尊(しゃくそん 釈迦様)の教え(仏教)を説き、
伝え、弘める場所です。そして祈り
を通して、命の尊さを知り、心安ら
かに人生を歩んで頂ける様に支え合
う所でもあります。

そんな教えの軸となるのが、お釈
迦様が説き残された「仏教」なので
す。今から約三千年前に仏教をお説
きになったお釈迦様は、この世にお
生まれになられて8万4千という数

え切れないほど膨大な教えを説かれた
と言われています。しかし私達は膨大
な教えを一つずつ読み返す余裕もあ
りません。そこで、日蓮聖人は次のよう
に喝破されました。8万4千という膨
大な教えの中身を、あえて一言で言
表すとしたら・・・

「釈尊出世(しゃくそんしゅつせ)の
本懐(ほんがい)は、人の振る舞いに
て候いけるぞ」と。つまり、釈尊がこ
の世にお生まれになられて、教えを説
かれた本心は、人が生きていく道を伝
えるためである、と。

この文章は、当時、日蓮聖人の大信
者であった四条金吾頼基(しじょうき
んごよりもと)氏に送られたお手紙の
中の一節です。数多くあるお経(教え)
の中で、特に法華経(ほけきょう)は、
菩薩道(ぼさつどう)を説いています。

菩薩道(ぼさつどう)というのは、菩薩様は、自分の
ことだけを考えて生きていく人ではな
く、世のため人のため、世界の平安を
実現することを願って生きている人の
ことです。これを実践することを「菩
薩行(ぼさつぎょう)」と言います。

よく「共に生き、共に栄える」という
人生の生き方が示されますが、個人だ
けでなく、個人と全体とが同時に救わ
れて幸せになっていくというのが菩薩
道です。この菩薩の生き方を、我々に

「仕合わせの和」
と打ち込んで頂ければ、
ホームページに
繋がります。

編集・発行
玉蓮山 真成寺
編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

携帯 080-3744-2523
こちらの番号でも
お寺につながります。

実践してもらうために、この世にお出
ましになられ、様々な譬喩(ひゆ)を用
いて教えを示された結果として、膨大
な教えが存在する由縁(ゆゑん)ということにな
ります。

心ある私達が生きていく上で大切な
ものはたくさんあります。現代は、経
済社会ですから、確にお金が無くて
は生活できません。しかし経済的に恵
まれていても、病気に苦しめられたり、
心に余裕がもてなければ、他人の事を
考える余裕もなく、ましてや自分のた
めに働く事すらできません。また一方
では、経済的に裕福だったり、健康な
身体に恵まれていたとしても、その財
力や体力を、天命を全うするために生
かし切れるかというと、千差万別、人
それぞれです。財力に恵まれなくても、
身体に何か支障を抱えていたとしても、
それらの障害とも言える状況にあった
としても、乗り越えて天命にしたがつ
て生きている人もまた沢山おられるで
しょう。そこにはどんな違いがあるの
か?何が違うのでしょうか?そうで
す。「心の持ちかた一つ」なのです。
日蓮聖人は「蔵(くら)の財(たから)より

身(み)の財。身の財より心の財第一
なり」と明言されておられます。

つまり蔵の財を積むのと、健康を維
持していくのと同じように、法華経
に説かれる菩薩行の実践が大切で
よ、と。その人の精進努力が必要に
なってきました。そして精進努力は「
信じる力」。生かされている自分の
命を「見つめる心」。そして最後に
実行力」が伴います。実行力の根源
は何でしょうか?「祈り」です。「素
直に真面目に真剣に」祈っていると、
心が曲がることはありません。お釈
迦様と直結する心に恵まれます。

「私の天命が全うされますように」
という祈りの心が、実行力となって、
お釈迦様をはじめとする諸天善神が
無限の力を貸して下さいます。その
無限の力と直結する道が、唱題読誦
(しょうだいどくじゅ) 南無妙法蓮華経
(しょうだいくじゅ) 南無妙法蓮華経
(しょうだいくじゅ) です。やってみて下さい。
心が安泰となり、菩薩道を行じる自
分が変わっていくはずですよ。約三千
年伝え続けられてきた仏教の奥深さ、
その南無妙法蓮華経の不思議をぜひ
体感して下さい。
皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

